

所在地：高知県中土佐町 選定年月日：平成23年2月7日 面積：244.6ha 選定基準：二(一)(四)(五)

(1) 概要

久礼港は、中世から近代にかけて、四万十川流域を中心とした領域各地で生産された物資を関西方面へと搬出する主要な港の一つとして発達し、他地域より物資や情報を吸収する要港の一つでもありました。

特に近世初頭には、家臣団居住地や城郭を取り込み、港湾機能に重点を置く町が形成され、現在の景観はこの町の構造に基づいて形成されたものです。

久礼に残る建物には、激しい台風に見舞われる独特の風土と共生してきた記憶を示すものが多く、例えば、水切り瓦や土佐漆喰は住居に対する人々の知恵と工夫を伝えます。

明治期には久礼、上ノ加江(かみのかえ)、矢井賀の三つの漁業組合が設立され、戦後には木材関連事業に変わって鰹漁が久礼の中心産業へと発展しました。漁師町には家屋が密集し、玄関脇の流しで魚をさばく人々の暮らしを見ることができます。

このように、「久礼の港と漁師町の景観」は、中近世に繁栄した港を核として形成された市街地が、鰹漁とともに発展した漁師町や漁港と相まって形成される独特の文化的景観です。



久礼市街地の全景



久礼漁港内港



漁師町の路地



本町商店街通り

（２）選定範囲



重要文化的景観の選定範囲

- 重要な構成要素：10件

（３）選定による効果

土佐の三大祭りにも数えられる秋季大祭を行なう久礼八幡宮や、多くの買い物客で賑わう久礼大正町市場など歴史ある街並みや建物がありますが、人口減少や少子高齢化のため、地域や個人の力だけでは維持が難しい現状があります。その中で、文化的景観の制度を活用して修理や集落調査を行なうことによって、伝統的な街並みや建物の価値の再確認や維持を図ることができています。



大正町市場



久礼八幡宮秋季大祭 竹練り

（４）保存活用計画などの基礎情報

- 四万十川流域の文化的景観 上流域の農山村と流通・往来調査報告書（平成22年3月、中土佐町）※久礼地区の調査を含む
- 中土佐町文化的景観追加調査報告書 久礼の港と漁師町の景観（平成23年3月、中土佐町）
- 国選定重要文化的景観『久礼の港と漁師町の景観』整備活用計画（平成26年6月、中土佐町）※保存計画書を含む

（５）活用事例

事例39-06 ①

歴史ある建造物の修理

文化庁補助金

●行政や住民等の協働による取り組み

歴史的な建物を保存を行うために、所有者等が実施する修理事業の経費に対して、町が補助を行う間接事業が進んでいます。これまで、久礼八幡宮本殿・直会殿、西岡酒造酒蔵屋根の修理を行ないました。

久礼八幡宮は、久礼の中心に位置し、秋に行なわれる秋季例大祭は土佐の三大祭りの一つに挙げられます。社殿の屋根には経年劣化や潮風などによる老朽化や屋根の雨漏りによる腐朽が、直会殿ではシロアリ被害が見受けられたため、社殿の屋根及び直会殿の修理を行ないました。

西岡酒造は、江戸時代中期である天明元年（1781年）に創業した県内最古の酒蔵です。久礼八幡宮同様、酒蔵には経年劣化による屋根の剥落や雨漏り、シロアリによる柱の被害などがあったため、九代目店主が柱の補強や屋根の修理を行っています。



久礼八幡宮（屋根葺き替え前）



久礼八幡宮（屋根葺き替え後）



久礼八幡宮・直会殿（修理後）



修理中の西岡酒造酒蔵屋根（手前から二棟目）

① 地域内での
魅力の共有② 活性化の
共有③ 地域外への
広報④ 魅力を引き
出す開発⑤ 財源の
確保と運用

⑥ 人づくり